

「当院における乳幼児急性虫垂炎の後方視的検討」 について

加古川中央市民病院 放射線診断・IVR科では、当院小児外科で急性虫垂炎の手術を施術された乳幼児患者さんを対象に、表題の研究を実施しております。

この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究概要及び利用目的】

急性虫垂炎は小児において高頻度に遭遇する急性腹症の一つですが、5歳以下の乳幼児に限定すると稀です。5歳以下の乳幼児急性虫垂炎の臨床症状は非特異的なため診断が遅れることが多く、学童期と比べて穿孔を来しやすいとされています。また、その希少性から乳幼児の急性虫垂炎に対する画像的な見解も少ないです。

今回、乳幼児にみられる急性虫垂炎の画像所見の特徴（穿孔の有無など）について後方視的に検討し、急性虫垂炎の早期発見につなげたいと考えています。

【研究期間】

研究期間：加古川中央市民病院長承認日 ～ 西暦 2026 年 3 月 31 日

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

2010年1月1日から2024年12月31日の間に、加古川中央市民病院 小児外科で急性虫垂炎の手術が施術された、生下時より6歳未満の乳幼児患者さんの診療録より下記の情報を取得いたします。

基本情報：年齢、性別

疾患情報：臨床症状、画像所見、手術所見、病理学的所見

【個人情報保護の方法】

この研究ではプライバシー保護に配慮し、患者さんの試料や情報は直ちに識別することができないように作成して加古川中央市民病院の鍵のかかる保管庫で管理します。研究成果を報告する時も個人が識別されないように行います。患者さんの個人情報については、本研究に関わる全ての研究者が守秘義務を順守するように徹底いたします。個人情報を外部機関へ提供することはありません。患者さんの個人情報は研究責任者が責任をもって保管します。

【試料・情報等の保存・管理責任者】

加古川中央市民病院 放射線診断・IVR科 責任者氏名：杉岡 勇典

【データおよび試料提供による利益・不利益】

利益：通常診療の情報を利用しており、データをご提供頂いた患者さんの個人には特に利益になるようなことはありません。

不利益：診療録からのデータのみ利用するため特にありません。

【登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて】

本研究において取得したデータ等は、研究期間中は加古川中央市民病院において厳

重に保管いたします。研究終了後も少なくとも本研究の終了報告日から５年を経過した日または本研究の結果の最終の公表について報告された日から３年を経過したいずれか遅い日までの期間、当院内のデータベース内のみで管理し、プリントアウトや外部持ち出しは行いません。

【研究成果の公表について】

研究成果は学術目的のための論文や学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定される情報は公表いたしません。

【研究へのデータ使用の取りやめについて】

データおよび情報の研究利用の拒否および同意の撤回についてはいつでも可能ですので、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。しかし、同意を撤回された時点ですでに研究成果が学会や論文などで公表されていた場合は廃棄ませんので、ご了承ください。なお、同意の拒否および撤回による不利益はありません。

【問い合わせ窓口】

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 放射線診断・IVR科

研究責任者名：杉岡 勇典

連絡先：079-451-5500